



防災講話を行いました

12月14日（金）の1、2限目に田野町総務課山本さんをお招きして、防災の授業を行いました。山本さんは田野町の「防災マップ」、「南海トラフト地震の想定震源域図」、「高知県庁のHPの南海トラフト地震の備えてGOOD！！」等の資料を用いて防災の心構えや備えについてお話をいただきました。

その後、「東日本大震災の時の釜石東中学校の避難の様子」を参考に、地震が来た時にいかに行動するかを焦点化して話を行いました。



山本さん



<生徒感想>

- ・臨機応変に対応することが大切だと思った。（1年）
- ・自分の家は、家具の固定など地震に備えていないので、いつ来てもいいように親と相談し、できるだけ早めに対処したいです。（1年）
- ・津波の怖さを改めて感じました。家で災害が起こった時用に準備して、家具を固定しようと思いました。家でも今日のことを話そうと思いました。（1年）
- ・防災の話を聞いて、もっとどうすべきか、津波が来た時、自分たちが助かるようにするにはどうするかを知りたいと思った。（1年）
- ・先生の話を聞いて、今後のことについて考えさせられました。今日、聞いた話を家族にもしたいと思いました。（1年）
- ・「・・・だろう」と安心しきっている思考はほぼ通用しないと知った。（2年）
- ・危険だと思ったらすぐに逃げるのが大事。自分の身は自分で守らなくては助からないことがよく分かった。（2年）
- ・実際に被害にあった人の話はとても貴重だと思うのでその話は聞いて良かった。（3年）
- ・やっぱり、自分が積極的に行動したり、声かけしたりしようと思った。いつ地震がくるかわからないので避難訓練をちゃんとしようと思う。できるだけ自分だけでなく皆を助けられる人になりたい。（3年）
- ・非常持ち出し袋と備蓄品は、分けておくのを初めて知った。（3年）
- ・「津波でんでこ」を覚えておく。災害時には率先避難者になる。（3年）
- ・東日本大震災の事だけでも沢山学ぶことがあることがわかった。指定された避難所においても安心してはいけない。その場の状況をきちんと見て、行動することが大事だと思った。1階・2階マップは大事なものだけど、それを完全に信用することはせず、もし自分がいる所が、危険と書かれていなくても、確実に助かるように逃げるのが大切なことだと思った。（3年）